

*Leutor*

Multipurpose polishing system

**ALMIGHTY LEUTOR**

**AM3**

《取扱説明書》

このたびは、「オールマイティーリユーターAM3」をお買い上げいただきまして  
まことにありがとうございました。

 **注意**


本機を安全にお使いいただくためご使用前に  
この「取扱説明書」を必ず熟読し、理解して  
ください。そのあといつでも使用できるように、  
大切に保管してください。

 **日本精密機械工業株式会社**

## 安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」を熟読し、正しくお使いください。


ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、取扱いを誤った場合に想定される内容を、次の3つのレベルに区分しています。

 **危険**：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容

 **警告**：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容


 **注意**：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容

### 作業中の服装について

 **警告**：作業は身軽な服装で行ってください。手袋や袖口の開いた衣類の着用や、長い毛髪は巻き込まれるおそれがあり、危険です。

**注意**：切削粉等が目に入らないように安全眼鏡を着用してください。又切削粉等を吸い込まないように保護マスクを着用してください。

### 安全にご使用いただくために

 **警告**：機器は室温0℃から40℃、相対湿度20%から80%（但し結露のない事）の範囲内でご使用ください。湿度の高い場所、濡れた場所、雨中での使用は感電事故の元になりますから、絶対に使用しないでください。又機器の絶縁を弱めたり、サビや動作不良の原因にもなりません。

**警告**：ラッカー、ペイント、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤など引火または爆発の恐れがある物質のある場所では絶対に使用しないでください。

**警告**：可燃性ガスや腐食性ガスのある場所での使用は、絶対しないでください。

**警告**：漏電事故、感電事故、火災等の防止のため、モーターハンドピース及び電源コードやフットコントローラコードに損傷を与えないでください。

**注意**：超硬カッター、軸付砥石等の工具は、必ずJIS規格品もしくは純正品を用い、許容回転速度以内でご使用ください。

**注意**：明るく十分スペースのある場所で作業してください。つまづいたり、電源コードが引っ掛かったりしないよう、整理整頓したところで使用してください。

**注意**：機器の通風口を布等でふさがないでください。又、通風口付近にゴミが付着したままでの使用は絶対しないでください。

**注意**：機器に水、油、ホコリ等の異物が入らぬようにご注意ください。

**注意**：製品内部には、圧縮空気等を絶対に吹き込まないでください。

**注意**：子供を近づけないでください。

**注意**：製品の改造及び分解は本来の性能安全を損ないますので絶対にしないでください。

**注意**：良く乾燥した場所で保管してください。

**注意**：無理な姿勢で作業しないでください。

## 使用上のご注意



**警告：**修理技術者以外の方は絶対に修理・改造はしないでください。異常作動して障害を負う恐れがあります。

**警告：**電源スイッチがオンの状態でプラグを差し込むと、ハンドピースが自動的に作動することがあります。危険なうえに破損の原因にもなります。必ずスイッチの停止を確認のうえプラグを差し込んでください。

**注意：**コードの接続や引き抜きの際は必ずプラグの部分をもってください。コードを引っ張ると断線の原因になります。

## ULTRA SONIC（超音波研磨作業）



**警告：**振動子の能力を超えた重い工具は作動不良や故障の原因となりますので使用しないでください。

**警告：**工具取付の際、標準工具以外の長い工具は付けしないでください。振動が不安定になり、機械に無理な負担をかけ運転を停止させてしまう場合があります。

## MINI EIGHT・PEGURA UNIT（回転工具作業）



**警告：**回転中は危険ですので、顔を近づけないでください。また、回転部及びその周辺には手を触れないでください。

**警告：**作業を終了し、パワーユニットから離れる場合は、必ずパワースwitchをOFFにしてください。フットコントローラーを踏んだり、机の下等に挟み込むと意図せずモーターユニットが回転し危険です。

**注意：**工具のシャフトが曲がった物や、砥石などにヒビ割れがないことを確認してから使用してください。異常がありますと、けがの原因になります。

**注意：**工具の交換は、モーターユニットの回転が確実に停止した事を確認してから行ってください。

**注意：**コレットチャックのゆがみがなく、工具がしっかり固定されていることを確認してから使用してください。

**注意：**セットリングがR側にある状態でモーターユニットを始動させないでください。

又、モーターユニット回転中は、セットリングを回さないでください。

モーターユニットばかりでなく機器全体の故障の原因になります。

**注意：**使用後はチャックパー又は工具を装着し、セットリングをS側に戻して保管してください。工具のない状態でセットリングをS側に戻して長時間保管されますと、コレットチャックが縮んだり芯振れの原因になる可能性があります。

**注意：**回転中、工具を必要以上に押さえ付けしないでください。

作業効率が悪いだけでなく、機器に余分な負担がかかり、故障や工具の変形、破損事故の原因となります。

**注意：**本体は落とさないよう、取扱いに注意してください。万一間違っって落とした場合は、装着工具に曲がりや破損等の異常がない事を確認した上で、最低速より徐々に回転を上げ、異常音や芯振れ等がないことを確かめてください。

## もくじ

-  安全上のご注意…………… [ 1 ]
- もくじ…………… [ 3 ]
- ご使用前に…………… [ 4 ]
  - ご購入になりましたらまず次の通り確認してください…………… [ 4 ]
  - 本体（AM3）と付属品について…………… [ 4 ]
- 仕様・各部の名称…………… [ 6 ]
  - 仕様 本体 AMC3…………… [ 6 ]
  - 各部の名称 本体AMC3…………… [ 7 ]
  - 各部の名称 ハンドピース GS-H26…………… [ 8 ]
- I ご使用方法 運転準備・超音波工具の取付について…………… [ 9 ]
  - ホルダの取付け方…………… [ 9 ]
  - 工具の取付け方…………… [ 9 ]
- II ご使用方法 ULTRA SONIC モードについて…………… [ 10 ]
  - ハンドピースの接続…………… [ 10 ]
  - ULTRA SONIC モード 運転…………… [ 10 ]
  - 異常動作の処置…………… [ 11 ]
- III ご使用方法 MINI EIGHT モードについて…………… [ 12 ]
  - MINI EIGHT モータユニットの接続について…………… [ 12 ]
  - AMC3本体へミニエイトモータユニットの接続…………… [ 12 ]
  - MINI EIGHT モード 運転…………… [ 13 ]
  - 回転数設定…………… [ 13 ]
  - 回転方向選択…………… [ 14 ]
  - フットコントローラーについて…………… [ 14 ]
  - オーバーロードについて…………… [ 14 ]
  - 低速運転について…………… [ 14 ]
- IV ご使用方法 PEGRA モードについて…………… [ 15 ]
  - PEGRA モータユニットの接続について…………… [ 15 ]
  - AMC3本体へペグラ モータユニットの接続…………… [ 15 ]
  - PEGRA モード 運転…………… [ 16 ]
  - 回転数設定…………… [ 16 ]
  - 回転方向選択…………… [ 16 ]
  - フットコントローラーについて…………… [ 16 ]
  - オーバーロードについて…………… [ 17 ]
- 保守・点検…………… [ 17 ]
  - ヒューズの交換…………… [ 17 ]
  - 日常のお手入れ 汚れのひどいとき 作業後の保管…………… [ 17 ]
  - 〈ご購入おぼえ書き〉 メ モ…………… [ 18 ]

## ご使用前に

### ●ご購入になりましたらまず次の通り確認してください。

- ・ 輸送の途中で破損していないか、ねじがゆるんでいないか。
- ・ 本体・フットコントローラー・部品箱内のハンドピースと付属品は揃っているか。

## 本体（AM3）と付属品について

1. 本体（AM3）
2. フットコントローラー（FC-30）
3. 部品箱（収納されているハンドピースと付属品）
  - a. ハンドピース LSH-26 (GS-H26) 1本
  - b. ハンドピースコード 1本
  - c. 電源コード 1本
  - d. アダプタプラグ 3P→2P変換) 1個
  - e. ハンドピース台 1個
  - f. 両口スパナ10-12 1本
  - g. ツールチャックφ3-M6 1個
  - h. 砥石ホルダT3.1-M6 1個
  - i. 砥石ホルダT1.1-M6 1個
  - j. M6延長アダプタ 1個
  - k. 電着ダイヤモンドヤスリ平 3W×56L #400 (Q2172), #600 (Q2173) 各1本
  - l. 電着ダイヤモンドヤスリ平 6W×56L #400 (Q2182), #600 (Q2183) 各1本
  - m. 電着ダイヤモンドヤスリ コテ丸形 65L×φ3 #200 (Q2192) 1本
  - n. 電着ダイヤモンドヤスリ コテ三角形 65L×φ3 #200 (Q2202) 1本
  - o. 電着ダイヤモンドヤスリ コテ楕円形 65L×φ3 #200 (Q2212) 1本
  - p. スティック砥石 6W×50L #800 (Q4212) 1本
  - q. ツール交換ラック 1個
  - r. 六角棒スパナ2.5 1本
  - s. 金属薄板 1個



1. 本体（AMC3）



2. フットコントローラー



3. 部品箱



a. ハンドピース LSH-26 (GS-H26)



b. ハンドピースコード



c. 電源コード



d. アダプタプラグ  
(3P→2P変換)



e. ハンドピース台



f. 両口スパナ 10-12



g. ツールチャック  
φ3-M6



h. 砥石ホルダ  
T3.1-M6



i. 砥石ホルダ  
T1.1-M6



j. M6延長アダプタ



k. 電着ダイヤモンドヤスリ平  
3W #400 #600 各1本



l. 電着ダイヤモンドヤスリ平  
6W #400 #600 各1本



m. 電着ダイヤモンドヤスリ  
コテ 丸形



n. 電着ダイヤモンドヤスリ  
コテ 三角形



o. 電着ダイヤモンドヤスリ  
コテ 楕円形



p. スティック砥石



q. ツール交換ラック



r. 六角棒スパナ



s. 金属薄板

## 仕様・各部の名称

### ●仕様

#### 本体 AMC3

電 源	AC90V~240V 50/60Hz	LCD 形式	4.3" TFT タッチパネル
外形寸法	W200×D277×H170	ヒューズ	3.15A タイムラグ
		重 量	4.5Kg

#### ULTRA SONIC モード

発信周波数	18~26KHz	電 源	AC90V~240V 50/60HZ
周波数調整	自動追尾式	消費電力	60W
出 力	45W MAX	出力調整	無断連続可変式

#### ハンドピース GS-H26

振 動 子	PZT 電歪振動子	材 質	エンジニアプラスチック
コ ー ド	φ3.4mm×1.5m	外形寸法	φ27.4×L124
ツール取付サイズ	M6×0.75	重 量	185g

#### MINI EIGHT モード

電 圧	波高値 28V	消費電力	80W
-----	---------	------	-----

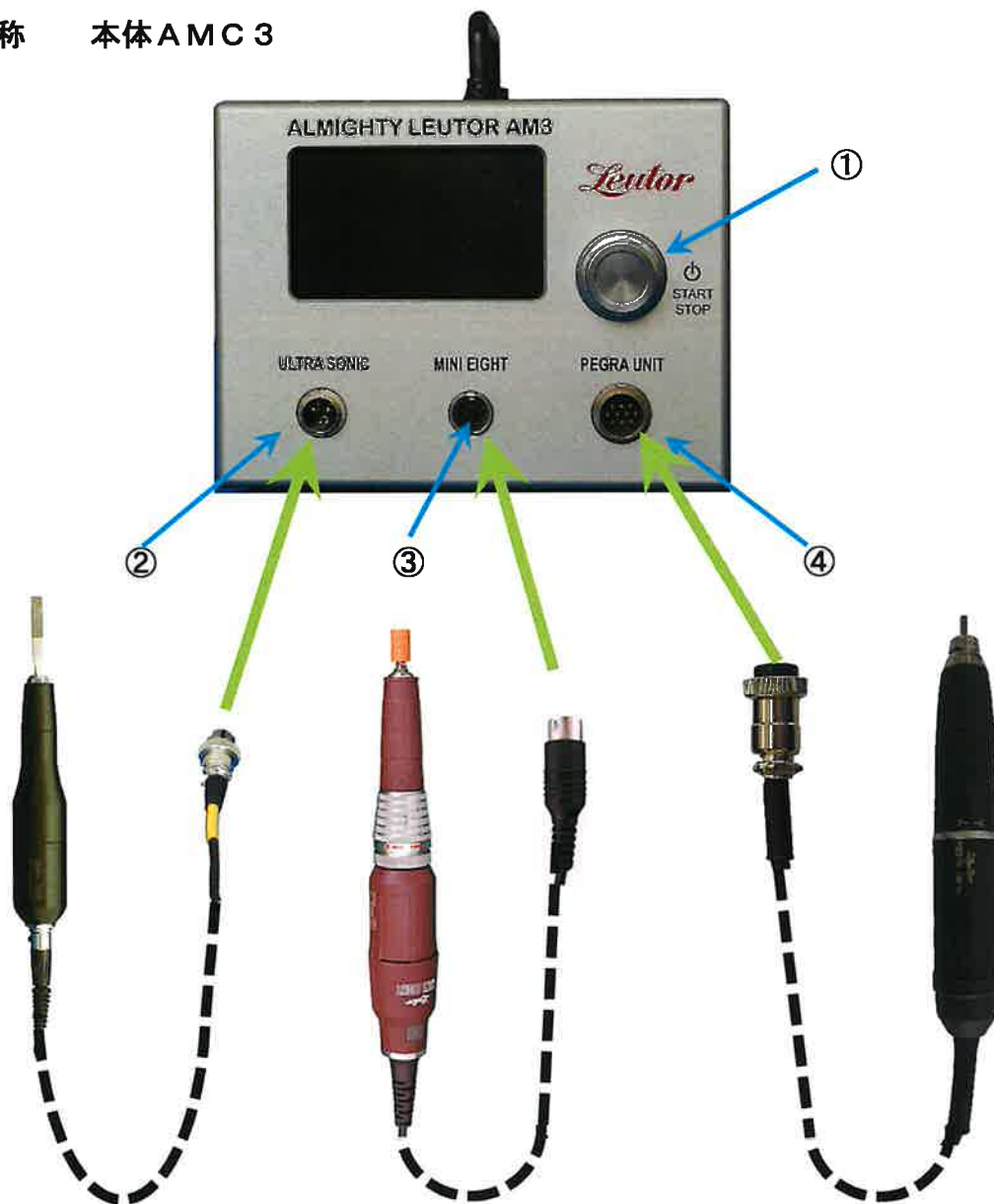
別売のリューター ミニエイトシリーズのモータユニットが使用できます。

#### PEGRA UNIT モード

電 圧	AC1.3V~33V	消費電力	200W
-----	------------	------	------

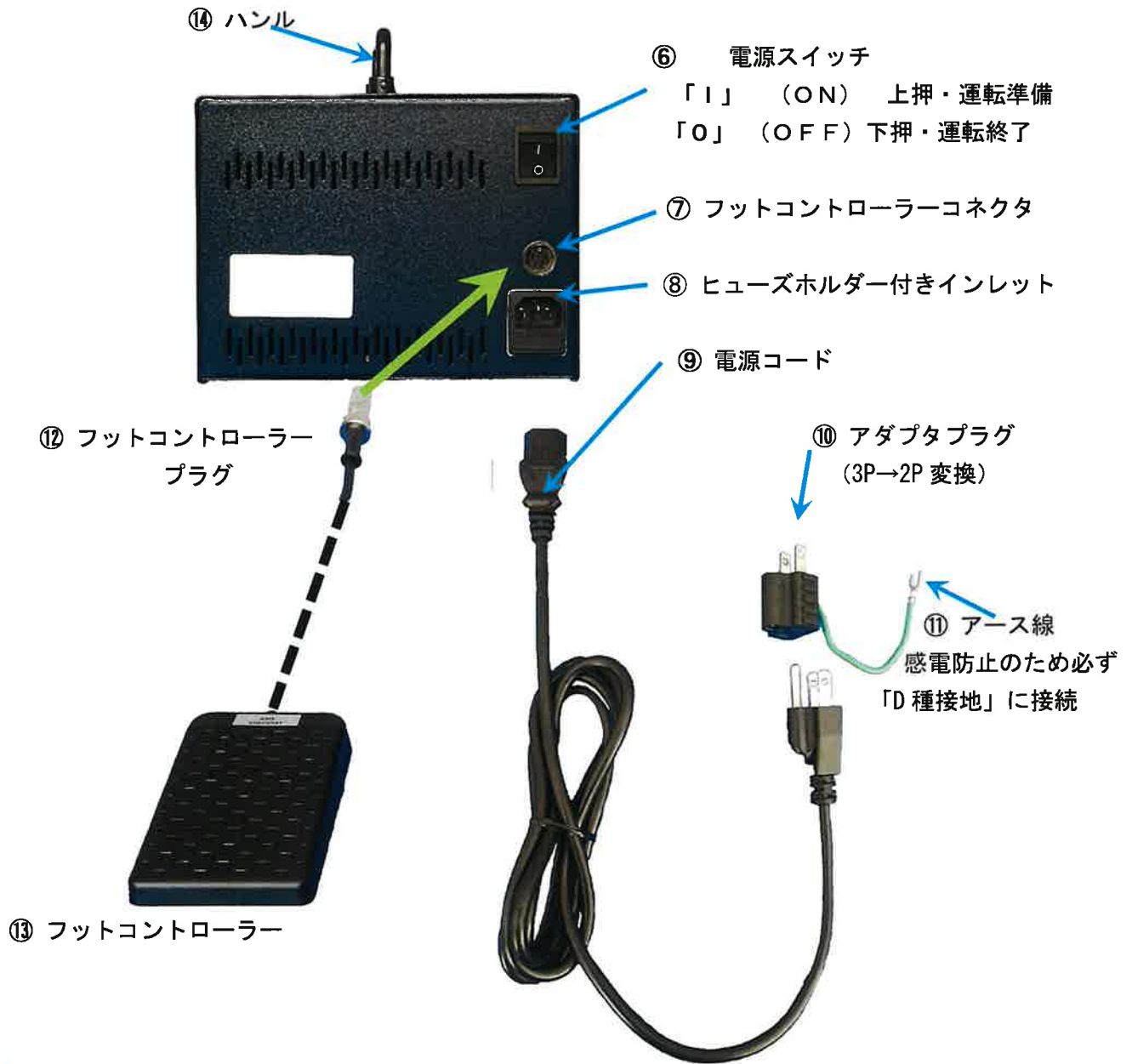
別売のリューター ペグラLBM-50が使用できます。

●各部の名称 本体AMC3

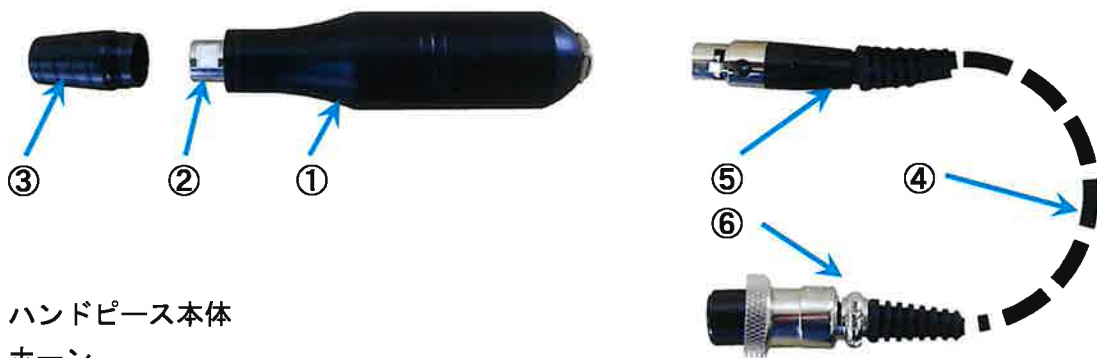


- ① 出力調整つまみ+スタート・ストップスイッチ  
工具の振動の強さ及び回転の速さの調整と起動・停止
- ② ULTRA SONIC 超音波ハンドピースコネクタ  
超音波ハンドピース GS-H26 のプラグを接続
- ③ MINI EIGHT ミニエイト出力コネクタ  
ミニエイトモータユニットのプラグを接続
- ④ PEGRA ペグラ出力コネクタ  
ペグラモータユニットのプラグを接続
- ⑤ LCD 画面  
ULTRA SONIC MINI EIGHT PEGRA のモード切替 正転/逆転の切替  
超音波振動の強さ及び回転の速さのデジタル表示と負荷モニター表示  
フットコントローラーの切替 アラーム表示





●各部の名称      ハンドピース    GS-H26



## I ご使用方法 運転準備・超音波工具の取付について

**警告：重い工具は使用しないで！**  
振動子の能力を超えた重い工具は故障の原因になりますので使用しないでください。

**警告：工具取付け長さを厳守！**  
工具取付けの際、標準工具以外の長い工具はつけないでください。  
振動が不安定になり、機械に無理な負担をかけ運転を停止させてしまう場合があります。

### ●ホルダの取付け方

**注意：ホルダを交換する時は、必ず付属のツール交換ラック、スパナを使用してください。**

・ホルダは、3種類付属しています。

運転する工具に合わせてホルダを、選択してください。

1. 取付け部φ3工具……ツールチャックφ3-M6
2. スティック砥石及び幅6mm厚さ3mm以下の工具  
……砥石ホルダT1. 1-M6、砥石ホルダT3. 1-M6

◎付属のツール交換ラックの溝にホーンを固定し、付属の両口スパナ10-12の10を使って、ホーンのネジ部に締付けてください。工具に安定した振動を伝える為に重要です。  
目安として50N~100N (5kg~10kg) の力で確実に締め付けてください。

### ●工具の取付け方

**注意：工具を交換するときは、必ず電源スイッチを「OFF」にしてからおこなってください。**

・ツールチャックφ3-M6

工具を差し込み突き出し量が、できるだけ短くなるように付属のツール交換ラックの溝にホーンを固定し、付属の両口スパナ10-12の10を使って、チャックを締付けてください。

**注意：ツール交換ラックを使用しないで両口スパナだけでツール交換されるとハンドピース外殻に対してホーン部が回転します。  
この回転状況が重なりますと、内部配線が切断して故障の原因となります。**

・砥石ホルダT1. 1-M6、砥石ホルダT3. 1-M6

工具を差し込み、付属のツール交換ラックの溝にホーンを固定し、付属の六角棒スパナ2.5を使って、砥石ホルダを締付けてください。

・工具の取付けネジは確実に締付けてください  
工具に安定した振動を伝える為に重要です。



ホルダの取付け図



工具の取付け図 1



工具の取付け図 2

## II ご使用方法 ULTRA SONIC モードについて



**警告：プラグを差し込む前に電源スイッチは必ずオフに！**

電源スイッチがオンの状態でプラグを差し込むとハンドピースが自動的に動作することがあります。  
危険なうえ破損の原因にもなります。必ずスイッチの停止を確認のうえプラグを差し込んでください。



**注意：接続や引き抜きはプラグを持って！**

接続や引き抜きの際は必ずプラグの部分を持ってください。コードを引っ張ると断線の原因になります。

### ●ハンドピースの接続

- ・超音波工具を取り付けたハンドピースGS-H26を本体のULTORA SONICコネクタに接続する。P7, P8を参照
- ・フットコントローラーのプラグを本体裏面のコネクタに接続する。P8参照
- ・電源コードのプラグを、本体裏面のインレットに接続する。P8参照
- ・電源プラグを付属のアダプタプラグに差し込み、AC100Vのコンセントに接続する。
- ・アダプタプラグにはアース線が接続しています。必ずD種接地を行ってください。

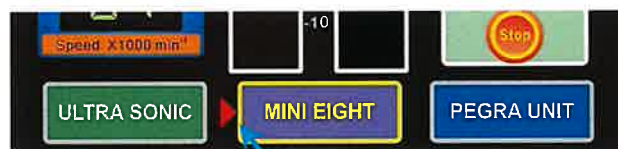
### ● ULTRA SONIC モード 運転

- ・電源スイッチを「ON」にします。
- ・本体のLCD画面に左図の画面が表示されます。  
この画面は電源が投入された準備完了画面です。

LCD画面の操作をするたびに確認音がします。



部分をタッチすれば前回選択されたモードがLCD画面の下部に表示されます。



選択中のモードを表す。



部分をタッチすればULTORA SONIC（超音波）モードに変わります。

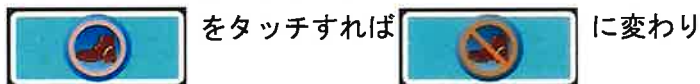


- ・ ULTORA SONIC（超音波）モードに変われば、ハンドピースに取付られている超音波工具が同調するか自動で **ULT. SCAN...** が表示され判定します。

判定後は表示が消えて運転が可能です。



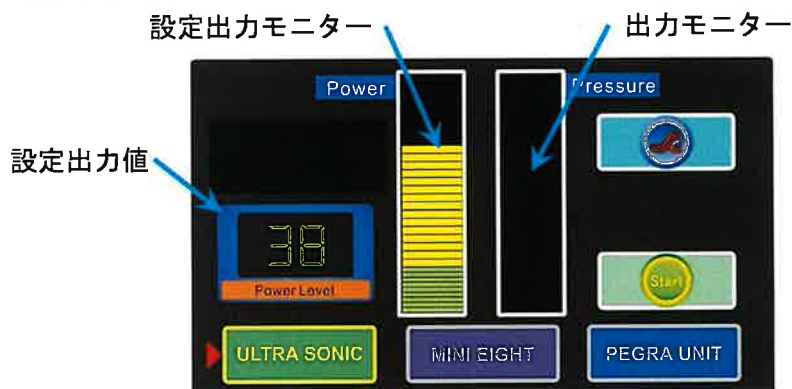
- ・ フットコントローラーの踏み込み量に応じて、ペダル感覚で出力調整が出来ます。ペダルを戻せば停止します。



フットコントローラー機能は停止します。

出力調整ツマミを押すと起動・停止スイッチとして運転できます。

- ・ 出力調整ツマミを回して振動の強さを設定してください。






### ● 異常動作の処置

LCD 画面に **ULT. TOOL UN-MACH** が表示された場合は工具の緩み、選択不良が考えられます。

状態	原因	処置
振動が出ない	ハンドピースの発熱	長時間不安定な振動または過大な負荷の運転による発熱の為負荷の軽減。
振動が弱い	出力レベル	出力調整ツマミを右方向に回し出力を大きくする。
	工具の緩み	工具の取付けネジを増し締めする。
	工具不良	新しい工具に取替。
振動が不安定	接続不良	ハンドピースプラグ・フットスイッチ等の接続部の点検。
	工具の緩み	工具の取り付け・ホルダの取り付けを増し締めする。
	工具の選択不良	標準工具以外の重たい工具・長い突き出し量の工具、短い工具は、正常に震動しない物があります。


## Ⅲご使用方法 MINI EIGHT モードについて


### MINI EIGHT モータユニットの接続について

-  **警告：プラグを差し込む前に電源スイッチは必ずオフに！**  
電源スイッチがオンの状態でプラグを差し込むとハンドピースが自動的に動作することがあります。危険なうえ破損の原因にもなります。必ずスイッチの停止を確認のうえプラグを差し込んでください。
-  **注意：接続や引き抜きはプラグをもって！**  
コードの接続や引き抜きの際は、必ずプラグの部分を持ってください。コードを引っ張ると断線の原因になります。
-  **注意：オールマイティリユーターAM3に接続するモータユニットについて**  
ミニエイトシリーズの手元スイッチ付モータユニット（M08A, M15A, M20A, M30A, M35A, M55A）を接続した場合はLCD画面には、その最高回転数が表示されます。BS-12、RE-06を使用される場合は、変換プラグCG-BS12、CG-RE06を使用してください。

#### ●AMC3本体へミニエイトモータユニットの接続

- ・電源コードのプラグを、本体裏面のインレットに接続する。P8 参照
- ・電源プラグを付属のアダプタプラグに差し込み、AC100Vのコンセントに接続する。
- ・アダプタプラグにはアース線が接続しています。必ずD種接地を行ってください。
- ・使用するミニエイトモータユニットのプラグを接続する。P7 参照
- ・必要に応じてフットコントローラーのプラグを本体裏面のコネクタに接続する。P8 参照

-  **警告：直径の太い工具や曲がった工具は使用しないで！**  
モータの能力を超えた大きい工具は、故障や危険が生じますので使用しないでください。  
曲がった工具の使用も大変危険ですので避けてください。必ず仕様にあった工具をご使用ください。

-  **警告：工具取付け長さを厳守！**  
工具取付けの際には下表に指定された取付け長さを厳守してください。指定寸法以上に長く取付けると、機械に無理な負担をかけたり、また工具が折れたり曲がったりして非常に危険です。

工具取付け長さ


工具の種類	取付け長さ
軸付砥石 軸付ゴム砥石	10mm以内
カッター	13mm以内
マンドレール 割ピン	軸端が奥に当たるまで いっぱいに入れてつかむ

## ● MINI EIGHT モード 運 転

- ・電源スイッチを「ON」にします。
- ・本体のLCD画面に左図の画面が表示されます。  
この画面は電源が投入された準備完了画面です。



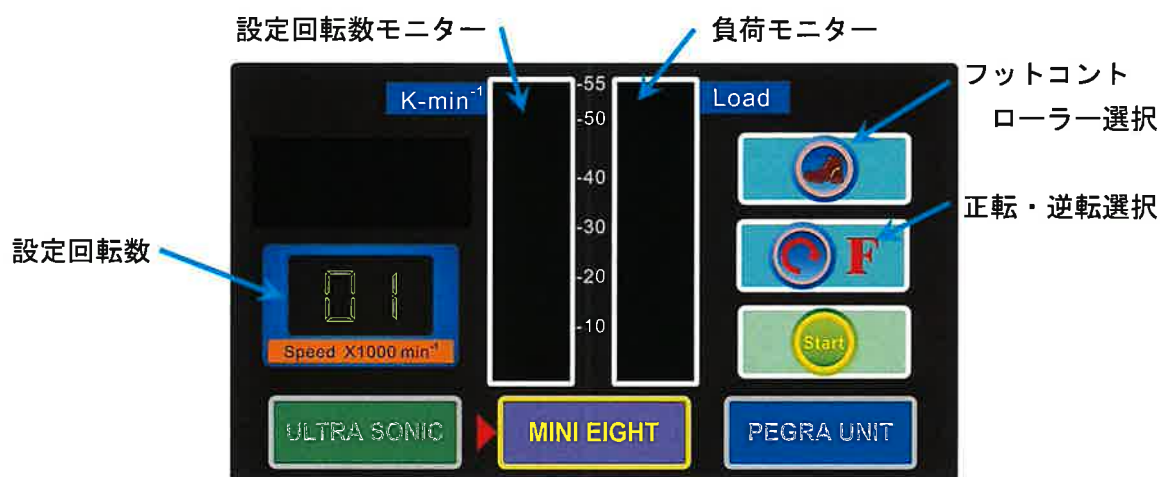
LCD画面の操作をするたびに確認音がします。

- ・  部分をタッチすれば前回選択されたモードがLCD画面の下部に表示されます。



選択中のモードを表す。

- ・  部分をタッチすれば MINI EIGHT モードに変わります。  
接続された MINI EIGHT モータユニットの最高回転数をモニター中央部に2桁表示します。



MINI EIGHT モード画面

## ● 回転数設定

- ・使用したい回転数の設定は、画面右側の回転数設定つまみを回せばデジタルで表示するのと同時に設定回転数モニターでもグラフで表示します。




回転数設定つまみ  
押す 起動・停止

### ●回転方向選択


- ・LCD画面の正転  逆転  はタッチする度に切り替わります。

### ●フットコントローラーについて

- ・フットコントローラーを接続すればLCD画面に  が表示されます。  
フットコントローラーの踏み込み量に応じて、ペダル感覚で回転調整が出来ます。  
ペダルを戻せば停止します。



を選択している時は、回転数設定つまみの起動・停止と MINI EIGHT の手元スイッチの機能は使用できません。

- ・LCD画面をタッチして  に変えれば、回転数設定つまみの起動・停止と MINI EIGHT の手元スイッチ機能は使用できます。
- ・フットコントローラーを接続しない場合はマークは表示されません。  
回転数設定つまみの起動・停止と MINI EIGHT の手元スイッチ機能は使用できます。



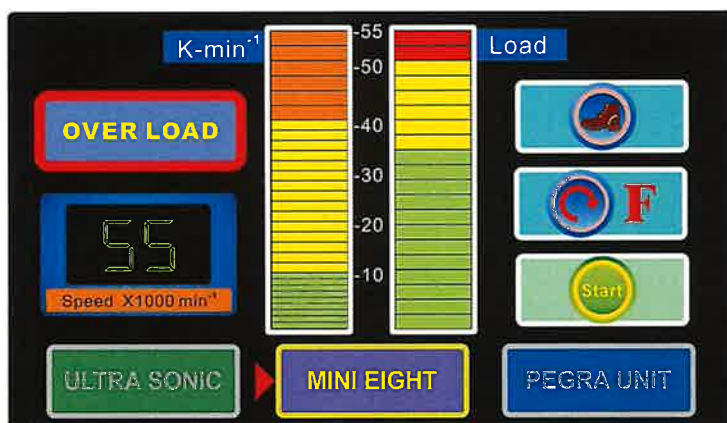
注意：作業はLOADモニターの緑色点灯範囲で！

特に高負荷時(赤色)が点灯した状態で作業を行うと、サーキットブレーカーが動作しやすくなります。

### ●オーバーロードについて

- ・過負荷でサーキットブレーカーが動作すると  が点滅して通電が停止します。

サーキットブレーカーの動作後の解除は  をタッチするとサーキットブレーカーが解除されます。





### ●低速運転について

モーターユニットをしばらく使用していなかった場合、モータ整流子に酸化被膜が形成され、低速で回転しない場合があります。その場合は高速で数十秒間運転することにより、酸化被膜を除去することが出来ます。


## IV ご使用方法 PEGRA モードについて


### PEGRA モータユニットの接続について

-  **警告：** プラグを差し込む前に電源スイッチは必ずオフに！  
電源スイッチがオンの状態でプラグを差し込むとハンドピースが自動的に動作することがあります。  
危険なうえ破損の原因にもなります。必ずスイッチの停止を確認のうえプラグを差し込んでください。
-  **注意：** 接続や引き抜きはプラグをもって！  
コードの接続や引き抜きの際は、必ずプラグの部分を持ってください。コードを引っ張ると断線の原因になります。

#### ● AM3 本体へのペグラモータユニットの接続

- ・電源コードのプラグを、本体裏面のインレットに接続する。P8 参照
- ・電源プラグを付属のアダプタプラグに差し込み、AC 100V のコンセントに接続する。
- ・アダプタプラグにはアース線が接続しています。必ず D 種接地を行ってください。
- ・ペグラモータユニットのプラグを接続する。P7 参照
- ・必要に応じてフットコントローラーのプラグを本体裏面のコネクタに接続する。P8 参照

-  **警告：** 直径の太い工具や曲がった工具は使用しないで！  
モータの能力を超えた大きい工具は、故障や危険が生じますので使用しないでください。  
曲がった工具の使用も大変危険ですので避けてください。必ず仕様にあった工具をご使用ください。

-  **警告：** 工具取付け長さを厳守！  
工具取付けの際には下表に指定された取付け長さを厳守してください。指定寸法以上に長く取付けると、機械に無理な負担をかけたり、また工具が折れたり曲がったりして非常に危険です。

工具取付け長さ

工具の種類	取付け長さ
軸付砥石 軸付ゴム砥石	10 mm 以内
カッター	13 mm 以内
マンドレール 割ピン	軸端が奥に当たるまで いっぱいに入れてつかむ




## ● PEGRA モード 運 転

- ・電源スイッチを「ON」にします。
- ・本体のLCD画面に左図の画面が表示されます。  
この画面は電源が投入された準備完了画面です。



LCD画面の操作をするたびに確認音がします。

- ・  部分をタッチすれば前回選択されたモードがLCD画面の下部に表示されます。

PEGRA UNIT

部分をタッチすればPEGRAモードに変わります。

接続されたペグラモータユニットの最高回転数をモニター中央部に2桁表示します。



PEGRA UNIT モード画面

## ● 回転数設定


P13 MINI EIGHT モード 回転数設定を参照してください。

## ● 回転方向選択

P14 MINI EIGHT モード 回転方向の選択を参照してください。

## ● フットコントローラーについて

P14 MINI EIGHT モード フットコントローラーについてを参照してください。


 **注意：作業はLOADモニターの緑色点灯範囲で！**  
特に高負荷時(赤色)が点灯した状態で作業を行うと、サーキットブレーカーが動作しやすくなります。

● **オーバーロードについて**

・過負荷でサーキットブレーカーが動作すると  が点滅して通電が停止します。

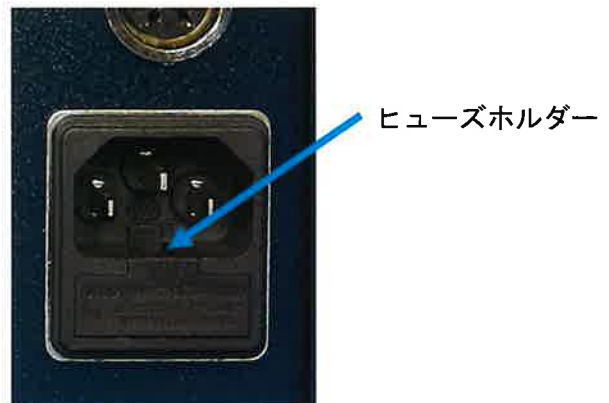
サーキットブレーカーの動作後の解除は  をタッチするとサーキットブレーカーが解除されます。

## 保守・点検

 **警告：不意の運転防止！**  
本機械の不意の運転による事故を避けるため、保守・点検の際には、必ず電源プラグを外してください。

● **ヒューズの交換方法**

ヒューズホルダー付インレット中央の部分をドライバーで手前に引くとツメがはずれます。  
ヒューズホルダーを引き抜くと中に2本のヒューズが入っていますので点検してください。  
取替は、付属のヒューズ(φ5.2×20 T3.15A)をお使いください。



● **日常のお手入れ**

乾いた布でから拭きしてください。ハンドピース部やモーターユニットのチャックや主軸テーパ部に付いた、金属粉やホコリなども乾いた布で拭き取ってください。  
エアガンなどで吹きますと内部に金属粉やホコリなどが侵入する場合があります、故障の原因になるので避けてください。  
特に本体には、粉塵・異物・湿気等が入らないように注意してください。

● **汚れのひどいとき**

中性洗剤の薄め液を染み込ませた布で汚れを拭き取ってください。ガソリン、ベンジン、シンナー、磨き粉などは製品を痛めますので絶対に使用しないでください。

● **作業後の保管**

使用しない製品や付属品は、高温にならない乾燥した場所に保管してください。また揮発性物質のあるところや落下の恐れのあるところには保管しないでください。

### 〈ご購入おぼえ書き〉

品 名 オールマイティリユーターAM3

ご購入年月日 年 月 日

ご購入店名

所在地 ㊤

TEL.

メモ

# 日本精密機械互作株式会社

製品および取扱いのお問い合わせは、最寄りの下記営業所まで

---

本社営業所 〒666-0015 兵庫県川西市小花2丁目27-22 TEL (072) 757-8750 (代)  
FAX (072) 759-8181

---

東京営業所 〒130-0014 東京都墨田区亀沢3丁目20-11 TEL (03) 3829-2662 (代)  
(関根ビル3F) FAX (03) 3829-2446

試験合格証

検査責任者

Ver. 1.01